

リコー三愛グループ

三愛会 会誌

No.171 2023

リコーグループ

三愛オブリグループ

リコーエレメックスグループ

リコーリースグループ

特集

「三愛ドリームセンター」60年の軌跡

1963年に「三愛ドリームセンター」が誕生して60年。
“銀座のランドマーク”として愛されてきましたが、
今春、建て替えが決まりました。
今号は、誕生から今日までの軌跡を振り返ります。

創業者・市村清物語

市村清と「三愛ドリームセンター」



人々の生活と産業を支えるパートナーとして



私たちは、創始者 市村清が唱えた「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」の三愛精神を礎に人々と地域社会、
産業をつないできました。これからはその力を、持続可能な社会のために向けることが求められています。

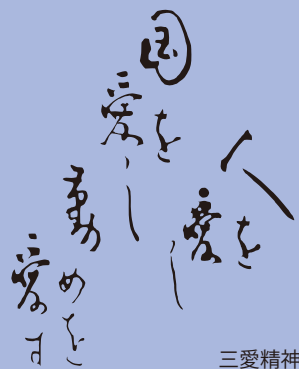
培ってきたつながりを生かしながら、新たな事業領域にも挑戦し、

柔軟な対応力で課題解決に取り組み、人々の生活と産業を支えるパートナーとなることを目指します。

顧客 地域 社会と共に良い関係を結ぶという思いを「オブリ(Obbli)」の名に込めて。私たちは、「三愛オブリ」です。

Obbli

三愛オブリ株式会社



三愛精神

CONTENTS

特集

「三愛ドリームセンター」60年の軌跡 2

建設当時を振り返る

オープン時を振り返る

歴代の広告塔を振り返る

主なイベントを振り返る

将来へ向けて

創業者・市村清物語

市村清と「三愛ドリームセンター」 9

Group Information 11

三愛会プラザ 15

三愛会会員会社一覧 18

表紙の言葉

銀座へ遊びに行くと必ず見えた「三愛ドリームセンター」。ランドマークになっていたので、姿が見えなくなるのはとても寂しいですね。新しく建て直されたビルも、銀座の象徴として活躍するのを楽しみにしています。

(作者 佐田みそ)

特集

「三愛ドリームセンター」60年の軌跡

1963年1月、銀座のと真ん中に誕生したガラスの塔「三愛ドリームセンター」は60年もの間、銀座のランドマークとして愛されてきましたが、今春、建て替えが決まり、惜しまれつつ姿を消しました。
そこで今号は、誕生から今日までの軌跡を振り返ります。

建設当時を振り返る

上から下へ造る・・・驚きの工法

1946年夏、銀座4丁目角にオープンした「三愛」。それから10余年を経て建物が老朽化したことから、市村清は建て替えるを決めました。建て替えるなら、銀座にふさわしい、世界に誇れるものにと、設計を託したのが林昌三氏（日建設計）でした。林氏は、皇居のお堀端に立つ「パレスサイド・ビルディング」や「中野サンプラザ」などの設計者としても知られています。林氏は、市村の要望であるガラスの円筒形ビルにプラスして、天井に光のリングを巡らせ、全体が光で照らされるビル、すなわち「光の塔」を造ることを提案しました。

着工は1961年5月、地下3階、地上9階、屋上のネオン塔を入れると地上48mの高さになる総ガラス張りの円筒形ビルの建設が始まりました。



ビル全体は中央のコア（柱）1本だけで支えられ、ほかに柱や梁を使わない特殊な構造で成り立つ。まず4階まで鉄骨を組み、さらに屋上階までの中央の円筒コアを建て上げる。次に、別工場で作られた24等分のコンクリート製の部材が4階床の位置で組み立てられ、ドーナツ状の床が造られる。最初に造られた床板はウインチで屋上階の床の高さまでつり上げられ、固定される。1962年5月19日、最初の床のつり上げが行われ、見守っていた人たちから歓声が上がった。



9階に続いて、4階で組み立てられたドーナツ状の床が8階までつり上げられて固定され、さらに7階……。床は一般的な工法とは逆に上から下へと出来上がっていった。この工法は、世界の建築界の注目を集めた。



10月末、ガラスが入り、いよいよ完成に近づく。全館ほとんど完全不燃材で造られ、火災の危険を防いでおり、ガラス張りで見えるにもかかわらず、地震・火災などに関しては大規模な実験を行い、安全性を確保した設計となっている。



6月末、ネオン塔の骨組みが終わり、サッシの骨格もついた。ビルの名称が公募され、「ビルの名をつけて下さい」という横断幕も掲げられた。



6月、骨組みがほぼ完了し、円筒の形が見えてきた。

※市村清が三愛ドリームセンターの建設を決断した時から円筒形総ガラス張りビルになるまでの経緯についてはp9~10の「市村清物語」をお読みください。

オープン時を振り返る

真夜中の開店披露宴

1963年1月、新ビルが完成、名称は公募により「三愛ドリームセンター」（三愛DC）に決まりました。「アイデアを生むには10の力でよい。それを企画にまで高めるには20の力がある。しかし実現するためには100の力がなければならぬ」（市村清）

三愛DCの誕生は、まさに100の力の結集だったと言えます。1月13日午前0時、市村が練りに練った「真夜中の披露宴」が始まりました。



“ただいまより三愛ドリームセンターの開店式を執り行います”

『君が代』の厳肅な調べに続き、市村が点灯スイッチの置かれたテーブルの前に立つと、報道陣のカメラのフラッシュが瞬く。

市村が点灯スイッチを押した。



1階内部と東入口前のステージが明るくなり、フランキー堺さんのドラム演奏が始まる。同時に、フランキーさんの乗ったゴンドラが昇り始めた。



灯火を持った女性「光の女王」のゴンドラも昇り始める。ゴンドラが2階に達すると、女王が灯火を上に掲げ、それを合図に2階のフロアに明かりがともった。さらに、3階に上がると3階が明るくなる。次々と光の輪がともって……



設計者の林氏が市村に提案した「光の天井」。各階の天井に明かりがともると、ビル全体が光の塔のように輝いた。

TOPICS

市村が寄贈した三愛DC前の「交番」

円筒形で屋根は淡朱色のステンレス製、前面は曲面強化硬質ガラス張りという超モダンな交番。

以前は木造のバラックだったが、「この場所を日本一美しい名所にする」という市村の計画の一部として、新しく設計建築され、開店式前日の1月12日夕刻、市村から警視庁に寄贈された。

寄贈式には、多くの報道陣と観衆が押し寄せた。





招待客は千数百人。趣向を凝らした数々のおもてなしが提供されたが、中でも人気を呼んだのが模擬店街。銀座中央通りの歩道に有名店が露店を並べた。



ゴンドラが昇るにつれて、大ドーナツ型の光の輪が重なっていく。そして、ゴンドラが9階まで昇ると、屋上のネオンが輝き始め、全館が金色に包まれる。まさに歴史的瞬間であった。
(写真は、写真家・吉田利雄氏が向かい側にある和光の屋上時計台から撮影したもの。後ろのサービスタワーのリコー時計が0時5分を示している)

TOPICS

三愛 DC を飾った彫刻家・流政之氏の作品「コイコリン」

女性たちを映すユニークな壁面

円筒形の本館の両翼に、屏風を後ろに半開きにして立てたような壁面で4階まで届いている。ブロンズの変形枠に黒の凸面鏡をはめたユニークなデザインで、ブロンズの枠の上には RICOH の文字と理研光学のマークが描かれている。

流氏は、壁画を描くよりもここを訪れた女性たちが自らを映して、幾重にも変化する画面を動画のように楽しんでほしい、そして恋も来るように、との願いを込めて「コイコリン」と呼んだ。

雌雄の猫

左右の壁面前に1匹ずつ置かれた石彫りの猫、“でろべえ”と“のんき”。両方をなでると夢がかなうとか、恋人同士になれると言われるようになり、いつしか、この猫たちが「コイコリン」と呼ばれるようになった。



流政之氏 (1923～2018)

長崎県出身の世界的彫刻家。彫刻だけでなくとどまらず作庭や陶芸、家具デザインなど、多彩な造形においても独自の技法やスタイルを確立した。1975年、ニューヨーク世界貿易センターのシンボルとして製作した巨大彫刻『雲の砦』で国際的評価を得た。

オープン初日

世間の度肝を抜いた「真夜中の開店披露宴」も無事終了し、午前11時、三愛DCが開店しました。本館の左右の壁面「コイコリン」には、開店を祝ってくださる関係会社取引先から贈られた何百という花かごが飾られました。これも演出の一つで、花かごには贈り主の名前が記されていました。



「コイコリン」と呼ばれる壁面にお祝いの花かごが何段にも飾られ、文字通り開店に花が添えられた。

開店当日は朝早くからお客さまが詰めかけた。開店時間（午前11時）の1時間前には開店を待つお客さまが、ビルを取り巻くように歩道にまであふれていた。

TOPICS

「特注」されたいろいろ

三愛DCの建設資材、設備等々については、既成概念を超えたさまざまな工夫が必要だった。

ドーナツ型ショーケース

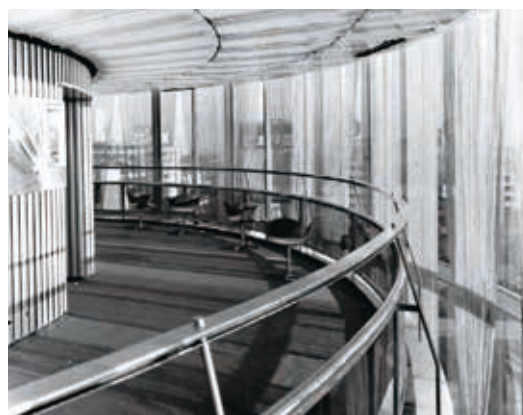
円形の建物のため、普通の四角いショーケースでは合わない。しかし、なかなか良い案が浮かばず、ドーナツ型が提案されたのは開店のわずか1カ月前であった。中央の柱に沿った大きなショーケースの他に、小型の円形のショーケースも製作され、各売り場で商品が美しく並べられた。（写真上：1階化粧品売り場）



金属のカーテン

カーテンは小さな金属玉を細い紐に通したものをすだれ状に垂らす案が採用された。開店後、キラキラ輝いて美しいと話題になった。

アイデアの提供者は市村の妻・幸恵。糸にガラスビーズを通して作るアクセサリーから思いついたという。（写真下）



湾曲した網入りの窓ガラス

建設当時の消防法で、隣りのビルに接する区域の窓には網入りガラスを用いることが必要であった。しかし、網の入っていない大型曲面ガラスの調達でさえ困難な状況で、網入りは絶望的だった。四方八方手を尽くして探した結果、たった1社、富山県の社員数人の小さな会社『新光硝子工業』が製作を引き受けてくれることになった。

結果、網入りガラスの曲面加工に成功し、また、製作過程で1枚も破損することなく、無事総数250枚が納品された。

歴代の広告塔を振り返る

三菱DCの注目すべきデザインの一つが屋上に設置された巨大なネオン塔（広告塔）です。初代の「三菱電機」から「RICOH」まで、7代にわたって銀座の街を彩ってきました。

オープン当時、地下3階に三菱電機の電気設備が設置されており、照明機器をはじめ全館すべての電気がまかなわれていました。



3代 コカ・コーラ
1994年12月～2000年



2代 San-ai
1990年5月～1994年



初代 三菱電機
1963年1月～1990年
音楽に合わせてネオンサインが点灯する仕組みだった



7代 RICOH
2014年12月～2023年
100%自然エネルギーで点灯する
広告塔にリニューアル



6代 RICOH
2006年12月～2014年
リコー創業70周年を機に新しい
広告塔を設置



5代 Vodafone
2004年3月～2006年



4代 響 (サントリー)
2000年3月～2004年

主なイベントを振り返る

明治百年記念大銀座祭と三愛DC5周年記念

戦後の高度経済成長により、銀座の街は大きく変わりました。銀座通りも都電が廃止されるなど大改修が進められ、新たな銀座通りが完成した1968年はちょうど明治100年、同時に三愛DCも誕生5周年でした。

銀座の街では明治100年を記念して「明治百年記念大銀座祭」が開催され、三愛DCも5周年を祝いました。



大銀座祭では、協賛各社が趣向を凝らしたフロートと呼ばれる花自動車による“音と光のパレード”が実施された。



三愛DC全体を大銀座祭&5周年仕様に派手に装飾。ゴンドラにはくす玉がつるされ、9階に達すると開花した。

ニッサンショールーム、マツダロータリーがオープン

1963年12月、三愛DCの2・3階に日産自動車「ニッサンショールーム」をオープンして、初代ブルーバードやフェアレディZ1500を展示、正面入り口近くの特設ステージにはセドリックが展示されました。

70年、ニッサンショールームが向かいのサッポロ銀座ビルに移転、日産の後に、マツダのショールーム「マツダロータリー」がオープンしました。



日産自動車川又社長のテープカット



ニッサンショールーム

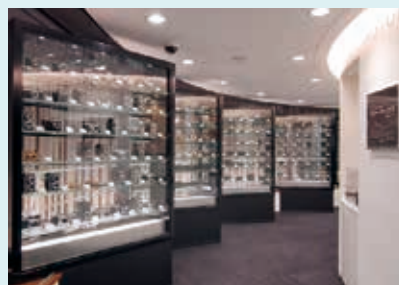
「日本におけるモダンムーブメントの建築」に選出

2003年9月、三愛DCがDOCOMO JAPAN選定「日本におけるモダンムーブメントの建物100選」に選出されました。銀座の真ん中に位置し、特徴ある丸いビル的美学、技術、思想が評価されたものです。

フォトギャラリー

「RING CUBE」開設

2008年、三愛DCの8・9階に、写真展を開催する「ギャラリーゾーン」や創業以来リコーが発売した歴代の銀塩&デジタルカメラの展示を行う「カメラゾーン」、ワークショップスペース等からなる「RING CUBE」を開設。その後、「リコーイメージングスクエア銀座」にリニューアル。さらに21年、同フロアが「RICOH ART GALLERY」として開設されました。（22年12月に閉館）



歴代カメラ展示コーナー

将来へ向けて

1960年代、高度経済成長期の真ただ中に誕生した三愛DCは、昭和、平成、そして令和の今日まで、銀座4丁目交差点にあつて銀座の街の変貌ぶりを見続けてきました。しかし、その三愛DCも竣工から60年を経過して、建て替えられることになりました。

今年2月1日、リコーは次のように三愛DCの建て替えを発表しました。

「はたらく」が時代と共に変化し続けるなか、この変化に向き合い、共創を生む場所として、創業者・市村清の想いを宿すこの場所からさまざまなメッセージを発信することで、銀座の街にふさわしい新たなランドマークを構築します。

新ビルディングの設計者として小堀哲夫氏（小堀哲夫建築設計事務所）を選定しました。「RICHARD（サーキユラー）ーめぐりめぐるよろこび」をコンセプトに現在のビルのレガシーを継承しながら、多様な人々が集い、「はたらく歓び」の共感が持続的に生まれ循環する、環境に配慮された空間となることを目指します。」

完成予定は2027年。新ランドマークの誕生が今から楽しみです。

※掲載写真について…原本の所在が不明なものについては『三愛会会誌』から複写しました。

市村清と

「三愛ドリームセンター」

木造建物の老朽化

1946（昭和21）年夏、銀座4丁目交差点にオープンした「三愛」。当初は食料品から衣料品や文房具、貴金属まで何でも適正価格で販売する百貨店でしたが、その後、女性ファッション専門店へと業態をチェンジして、繁盛を続けていました。

しかし、開業10周年を過ぎた頃から、建物の改築を考えなければならなくなっていました。銀座の復興が急テンポで進み、終戦直後は軒並み1階建てのバラック続きだった表通りには、次々と豪華なビルが建ち始めていましたし、何より三愛の木造2階建ての建物は、お客さまの多さに多少危険にもなっていたからです。

おしゃれの店「三愛」の衣替えをどうするか。

「アイデア社長」として世間に知られた市村にとって、これは自身の力量を問われる大きな課題であり、それからの数年間は、三愛の改築にありつたけの情熱と意欲を注いだと言っても過言ではありません。

世界に類のないビルを建てる

三愛の建坪はわずか65坪（約215㎡）でした。何とか敷地を広げようと隣の洋品店と交渉してみましたが、銀座の一等地のことから、相手は首を横に振るばかり。結局はあきらめて、65坪を基礎に考えることにしました。

しかし、これからの高層ビル時代に3階や5階のものでは仕方がないし、8階、9階のものにしようとするれば、柱を太くしたり、エレベーターやエスカレーターを設置したりで、売り場のスペースがほとんどなくなってしまう。貸しビルにしたとしても、駐車場もない高家賃のオフィスを借りる人があるとは思えません。実用の面から検討すると、まさに無い無い尽くしで手のつけようがありませんでした。

そこで市村は、「銀座のど真ん中」という宣伝価値を土台に構想を練ることを決心しました。

何と言っても日本一の地の利の場所です。ここに国内はもちろん世界にも類のない建物を建てよう。市村の「夢の殿堂造



り」がスタートしました。

建設現場の板囲いに、市村の挨拶文が大きく掲げられました。（写真右）

「世界一珍しい建物とは一体どんなものだろう、街の人たちはビルが出来上がっていく様子を毎日ワクワクする気持ちで眺めていました。新ビルは完成前から既に宣伝効果を上げていたのです。」

法隆寺の五重塔がヒント

この狭い一等地に「総ガラス張りの細長い円筒ビル」を建てようと思いついたのは、奈良・法隆寺の五重塔がヒントになりました。

御挨拶

「日本（の）に

世界（の）珍しい

建物を新築して

観光日本の

（助に資し度い）

と云う念願のもとに

五月（日）より

新築に着手致します

十五年間の御愛顧を

深謝申上げると共に

建築中の御不便を

お詫びし併せて

明年十月新築開店後の

一層の御支援御高底を

御願ひ申上げます。

昭和廿六年四月

株式会社 三愛
社長 市村 清

たまたま奈良を旅行していて法隆寺を参観した市村は、五重塔全体が真ん中の1本の柱で支えられているのに気づき、しばらく動くことができませんでした。

「五重塔の特殊な工法で、狭い敷地に細長い塔のような建物を造れないだろうか。世界最古の木造建築物が頭の中でぐるぐると回り始めたのです。」

最初は真ん中に太い柱を立てて建物全体を回す仕掛けを考えました。お客さまを動かさずに、円形のガラス張りの店そのものを動かしてみようというわけですね。

ところが、設計者に聞いてみると、建物を回すことは法規上許されていないとい

うので、止むを得ず中央の柱の中にエレベーターを入れてしまい、周りは柱なしという円筒ビルになったのですが、それでも前例のないものでしたので、建築許可を取るのに2年半もかかってしまいました。

建物そのものが斬新であり過ぎたために、資材も店内装備も照明も、すべて新しく考え出さなくてはなりませんでした。建物の壁になる硬質ガラスは特殊な硬度のものを作り、東京の郊外で何度もテストを繰り返して、ようやくOKになりました。



新ビルの模型を前に構想を語る市村清（1960年頃）

したし、屋上に設置する円形広告塔の許可を取るのにも何度も折衝を重ねました。

しつかり採算性も考える

さて、何から何まで初めてづくし。すべてが規格外ですから、建築費用も想像をはるかに超えるものでした。

しかし市村は、この夢の建物の経営計画の中で、事業としての採算性を度外視していたわけではなく、巨額な建築費用

を回収することも抜かりなく計算に入っていました。

例えば、ビルの清掃です。総ガラスの建物ですから、いつもきれいに磨いておかなければなりません。その費用もばかになりません。そこで思いついたのが、洗剤メーカーの宣伝でした。商品名を背中に染め抜いたハッピを着、「〇〇洗剤で清掃中」と書かれたゴンドラに乗ってビルを洗えば、宣伝効果は抜群。月50万円の清掃費を上回る広告料が得られるに違いないという計算です。果たして、洗剤メーカーからのオーダーが殺到したのです。

次がフロアの使い方です。この建物は地下2階から地上9階までの延べ面積は800坪（約2600㎡）、売り場面積はそれほど広くはありません。しかし、地下3階に設置した三菱電機の電気設備は、普通の店舗の10倍の照明が可能でした。そこで、これを利用して2フロアを貸し展示場として提供することにしました。結果、屋上の三菱電機の広告塔を合わせると、売り場として使う場合の3倍もの利益を見込むことができたのです。

名称を公募

1961（昭和36）年5月に着工した三愛の改装工事は、約2年半を経て終わり、名称も「三愛ドリームセンター」に決定して、開店を待つばかりとなりました。

ところで「三愛ドリームセンター」という名称が公募で決まったことをご存じですか？

最終的に、応募総数5万通の中から、金賞、すなわち名付け親になったのは品川区に住む西脇千恵子さんでした。

62年10月17日に三愛本社の社長室において授与式が行われ、金賞として賞金10万円のほか、副賞のハワイ5日間ペア観光旅行が贈られました。

また、銀賞（賞金10万円）に選ばれた俳優の園井啓介さんは、その縁もあって、その後、リコーのCMにも出演されました。

63年1月13日深夜、いよいよ市村が仕組んだ奇抜な披露宴が始まり……。



「名称応募」当選者賞金授与式。
左から、市村、幸恵夫人、園井さん、西脇さん（1962.10.17）

リコー



山下良則 代表取締役会長（左）と
大山晃 代表取締役社長執行役員・CEO

山下会長、大山社長のもと、新体制がスタート

1月30日に開催された取締役会において、山下良則会長及び大山晃社長が選定され、4月1日から新体制がスタートしました。これまでも常にお客様の“はたらく”に寄り添ってきたリコーグループは、“はたらく”に遊びを、新たにリコーウェイの「使命と目指す姿」として据えました。今後も三愛精神を企業活動の原点とし、お客様接点を大切にするリコーらしいデジタルサービスの提供を通じて、はたらく人の創造力の発揮を支援してまいります。

リコー

2023 年度入社式開催

4月3日にリコーの2023年度入社式が本社で行われ、120名が新たに仲間入りしました。コロナ禍以降続けてきた新入社員一人ひとりと対話する形式は変えることなく、新型コロナウイルスの流行が落ち着き、政府ルールも緩和されたことから、4年ぶりにフェイスガードやマスクのない対面での個別入社式となりました。今年度は山下良則会長、大山晃社長がそれぞれ半数の新入社員と会話し、交流しました。

入社式後、グループごとに入社式の感想や今後の意気込みなどをメッセージカードにまとめたり、先輩社員の案内で本社敷地内を回り、リコーの歴史などの説明を受けながら写真を撮影したり、リコー製品に触れたりしながら同期との交流を深めました。

入社式を終えた新入社員からは「初日に会社のトップである会長、社長と直接お話ができたことで、リコーの一員になった実感とモチベーションを得られました」といった感想が寄せられました。



4年ぶりにフェイスガードやマスクのない対面で行われた入社式の様子（本社・本館ホールにて）

リコージャパン

千葉支社が小学生向けワークショップを開催

リコージャパン 千葉支社は3月28日～30日の3日間、千葉商科大学（CUC：Chiba University of Commerce）が毎年開催している小学生向けイベント「CUC キッズ大学」において、小水力発電から脱炭素社会を考えるきっかけをつくるワークショップを行い、参加した55名の子どもたちにSDGsについての理解を深めてもらいました。

千葉支社と千葉商科大学は、2019年3月に「地方創生に係る包括的地域連携に関する協定」を締結しており、今回のワークショップは、その一環として大学の地域連携推進センターから受託したものです。

参加した子どもたちからは、「くわしくSDGsについて教えてくれて楽しかった」「水車で発電する実験が面白かった」「いろいろな発電機を見たい、つくりたい」「再生はいいことだと思った」など、たくさんの嬉しい感想をもらいました。



ワークショップでSDGsクイズに答える子供たち

リコー

「第11回企業の品質経営度調査」で最高位5つ星を獲得

一般財団法人日本科学技術連盟主催の「第11回企業の品質経営度調査」において総合評価最高位の5つ星を獲得。3月22日に授賞式と報告講演会が行われました。品質経営度調査は製品やサービスの質を維持・向上する取り組みを「トップのコミットメントと方針管理」や「顧客価値創造とその広がり」など6側面52項目で評価し、リコーは「顧客需要の調査と新製品への反映」、「顧客志向とトラブル対応活動の他事業展開」、「製造活動の他拠点展開」などの項目が高く評価され、参加企業152社中、他の3社と共に最高位評価となりました。

授賞式後の報告講演では、プロフェッショナルサービス部の西宮部長が、経営トップのコロナ禍におけるリモートでの階層を超えたコミュニケーションや、DXを促進し網羅性の向上と3M（面倒、マンネリ、ミスできない）業務を徹底的に排除したリコーならではのプロセス改善事例などを発表しました。



報告講演会において、プロフェッショナルサービス部・西宮部長（左）と企画委員会・椿副委員長

リコー

テニス部の小林選手と河野選手が男子ダブルスで優勝

JTA（日本テニス協会）公認大会の「第97回関東オープンテニス選手権大会」が5月18日～27日に有明テニスの森公園（東京都江東区）で開催され、男子ダブルスで、リコー男子テニス部の小林雅哉選手と河野甲斐選手が優勝しました。

小林選手は「4年目にして初の優勝をすることができました。先日は準優勝という結果で悔しい思いをしましたが、今回優勝でき、とてもうれしいです。今回の結果に満足せず、次の大会でも良い結果を出せるよう頑張ります」と念願の優勝を果たした思いを、河野選手は「今年初めて優勝できたのでうれしいです。これから試合が続くので、けがや体調管理に気を付けて更なる高みを目指します」と優勝のうれしさと抱負を語りました。今後ともご声援のほどよろしくお願いいたします。



優勝した小林雅哉選手（左）と河野甲斐選手

リコー

沼津事業所が「2023 GOOD FACTORY 賞」を受賞

一般社団法人日本能率協会主催の「第11回2023 GOOD FACTORY 賞」において、トナーやインクなどの開發生産を行う沼津事業所（リコー RDP CMC 事業本部）が「ファクトリーマネジメント賞」を受賞しました。

今回の受賞では、従業員の活性化、安全、品質、環境、DXに効果を上げていること、その結果として従業員のエンゲージメントが2年連続で向上していることが評価されました。

CMC 事業本部は、世の中/お客様の変化を先取りし、チャレンジし続ける人財を自律型人財としてあるべき姿に位置づけ、人財を最大限に活かすマネジメント方法を構築しています。また、自律型人財の育成を推進するためのワーキンググループを発足して、課題探索や課題解決に取り組んでいます。今回の GOOD FACTORY 賞への応募も自律的に参加したメンバーが中心となって進め、審査員へのプレゼンテーションも行い、受賞に至りました。



リコー山下会長（後列右から2人目）、村上事業本部長（前列中央）とともに表彰式に参加した RDP CMC 事業本部のメンバー

リコー

市村自然塾 関東、有識者ダイアログを実施しました

リコー三愛グループ創業者・市村清の生誕 100 年を記念して設立した「市村自然塾 関東」（神奈川県足柄上郡）では、令和 5 年度の塾生（22 期生）27 名が元気に活動中ですが、来年度向けの見学会参加者も募集中です。詳しくは Web サイトをご覧ください。

4 月下旬には、～これから求められる自然体験学習とは～をテーマに、市村自然塾関東のプログラムのあるべき姿・方向性の知見を得て、プログラムの改善につなげることを目的とした、自然体験活動を推進・実践されている有識者の方々との意見交換会「有識者ダイアログ」を実施しました。

子供たちの健やかな成長には自然とのふれあいなどの体験活動が重要との共通認識のもと、活動の成果を定量的に評価するだけでなく、子供たちの声から成長をとらえる方法があることなど、様々な観点から意見が交わされました。有識者からは、自然塾の活動の意義や素晴らしさを改めて認識してほしいとのうれしいお言葉をいただきました。



自然体験活動を推進・実践する有識者とのダイアログ（意見交換）を開催

リコー

ブラックラムズ東京、2022-23 シーズンを 7 位で終了

リコーブラックラムズ東京は、ジャパンラグビーリーグワン 2 シーズン目を 6 勝 10 敗の 7 位で終えました。

ホストゲーム最終節となった 4 月 16 日のトヨタヴェルブリッツ戦は「秩父宮真黒計画」をテーマにし、チーム最多となる 11,060 人の入場者数を記録。途中、悪天候による試合中断もありましたが、真っ黒に染まった秩父宮ラグビー場に響き渡る声援は選手たちへの大きな後押しになりました。

5 月 27 日(土)にはホストエリア・世田谷区の二子玉川ライズでシーズン報告会を実施し、グッズが当たるじゃんけん大会やラグビー体験会など、ファンの皆さんとの交流を楽しみました。



前列左から 3 人目より、退団を発表した森選手、柴田選手、辻井選手、牧田選手

また、チームマスコットの「ラムまる」はリーグワンマスコット総選挙で昨年に続き優勝、見事 2 連覇を達成しました。2022-23 シーズンも変わらず熱い応援をありがとうございました。今後とも、リコーブラックラムズ東京の応援をよろしくお願いいたします。 ※最新の情報はホームページをご覧ください <https://blackrams-tokyo.com/>

リコークリエイティブサービス

住まい探しの第一歩「リコー三愛グループ『住まいの法人提携制度』」のご活用を

コロナと向き合う生活から、少しずつ動き出した私たち。そろそろ住まいのことも考え始めてみませんか？
全国の法人提携企業 約 150 社の割引・優遇制度をご活用ください。

例えば、○新築マンション（価格 5000 万円）を購入 ⇒ 1%の割引物件 → 50 万円の割引特典

○注文住宅（工事価格 3000 万円）で建築 ⇒ 3%割引の会社 → 90 万円の割引特典

制度適用には提携企業に「初めて」問い合わせをする前に当社発行の「紹介カード」提出が必要です！

① 住まいのことを考え始める前に！ → Web サイト「RNAVI」で検索！提携会社を確認

② 気になる会社が見つかったら！ → 「紹介カード」を発券してください。

〈ファシリティマネジメント事業本部 CRE 部では、不動産に関わるあらゆる相談を承っています〉
不動産についてまず誰に相談するか迷ったら、ぜひご相談ください！

電話：090-6024-5881 担当：奥山・木野田



三愛オブリ



隼田 洋 代表取締役社長 社長執行役員

隼田 洋 代表取締役社長 社長執行役員が就任

2023年4月1日より、三愛オブリ 代表取締役社長 社長執行役員に隼田 洋が就任しました。

就任にあたっては、主要事業の特徴を最大限に生かし経営基盤を盤石なものとすると同時に、そこから派生する新しい領域への挑戦から、新規事業の確立へと結び付けていくと抱負を述べております。

三愛オブリグループでは、新体制のもと経営理念である「三愛精神」を礎として、コーポレートブランド「Obbli」が意味する「顧客、地域、社会と共に、良い関係を結ぶ」ことで「人々の生活と産業を支えるパートナー」となることを目指してまいります。

リコーエレメックス

本社・岡崎事業所、恵那事業所で社員有志が定期的に献血に協力

本社・岡崎事業所、恵那事業所では、愛知県、岐阜県の赤十字血液センターが年2回実施する献血活動に長年にわたって協力しています。

本社・岡崎事業所では1月と6月、恵那事業所では2月と7月に各事業所内で献血を実施。6月20日に本社・岡崎事業所で行われた際にも多くの社員が献血に協力しました。献血を長年続けている社員は「個人で社会に貢献できる活動との意識で、事業所での献血には通算20年ほど協力しています。半ば趣味のようになっていますが、どこかで誰かの役に立てているならうれしい限りです」と参加の理由を述べています。

リコーエレメックスでは他にも事業所敷地内の森林を活用した地域交流や次世代育成、事業所周辺清掃、近隣河川のクリーンアップなど、環境を通じた社会貢献活動を積極的に展開しています。



献血に協力する社員の皆さん

リコーリースグループ（リコーリース、テクノレント、エンプラス） 2022年度 全社表彰式（Mirai Award）を開催

リコーリースグループの2022年度 全社表彰式（Mirai Award）を5月26日に開催しました。

全社表彰は、優れた成果をあげた活動を表彰することにより、社員のモチベーションやエンゲージメントを高めることを目的に開催しています。

2022年度の活動の対象期間は2022年4月1日～2023年3月31日で、前年度同様に、経営理念に基づいた行動を評価する「全社コース」、定量的な成果を評価する「営業コース」の2つのコースで実施しました。

全社コースの受賞組織（チーム）は5組織で、

1位はテクノレント・インダストリー営業本部の「新型コロナワクチン接種会場向けワクチン保冷庫非常用バッテリーの『レンタル活用』による公共事業への貢献」でした。

営業コースは、リコーリース・エリア営業本部 関西支社 大阪営業三課をはじめとする8組織が受賞しました。

表彰の後には、受賞組織による事例紹介も行われ、その様子はZoomによるライブ配信で全社員へ共有しました。



リコーリース中村社長（前列右から6人目）、テクノレント高木社長（同7人目）、エンプラス雲下社長（同5人目）と受賞者の皆さん

第7代三愛会会長にリコー山下会長が就任

三愛会では、2013年就任以来10年にわたって三愛会会長を務めてこられた近藤史朗会長に代わって、新たにリコーの山下良則会長が三愛会会長として就任いたしました。

7月10日に第60回三愛会常任理事会が開催され、審議の結果、山下良則リコー会長を第7代三愛会会長に選任し、同日就任しました。

なお、近藤会長は三愛会名誉会長の職を辞退されましたので、それに伴い名誉会長職を廃止とし、近藤会長および2013年から名誉会長を務めてこられた桜井名誉会長は同日をもって退任となりました。



近藤前会長（左）と山下新会長



新旧会長と常任理事会に出席された常任理事の皆さん

三愛会・市村清創業者顕彰活動

三愛会主催 第2回『市村清ゆかりの地を巡る・佐賀ツアー』開催

2020年に第1回となる『市村清ゆかりの地を巡る・佐賀ツアー』を実施して以来、新型コロナウイルスの影響で2回目以降の開催が延期されていましたが、このたび第2回となるツアーを開催し、市村の故郷・佐賀を訪ねました。

参加者は、三愛会会員会社から選ばれた19名。2日間にわたって佐賀県内の市村ゆかりの地を巡り、在りし日の市村に思いを馳せるとともに、参加者同士の交流も深めることができました。

なお、今回のツアーには、リコージャパンの元佐賀支社長で現在は長崎支社におられる山口明人さんにご同行いただき、ツアー前には、市村とゆかりの地に関する理解をより深めるために、「市村清と三愛精神」と題した講義も行われました。



市村記念体育館正面で記念撮影

参加された皆さまのご感想（一部抜粋）

- 市村記念体育館は市村清が佐賀に寄贈したものの象徴のようなイメージがあったので、感慨深いとともに改装前に訪れることができよかったです。
- 市村清が長年、いろいろな方たちに愛され、そして次世代が受け継いでいく。建物に限らずご説明いただいた方たちからも大変伝わりました。貴重な体験を心より御礼申し上げます。
- 大変有意義な2日間でした。三愛会の一員として誇りに感じました。
- ツアーの始めに事務局の挨拶や参加者の自己紹介等があればもう少しコミュニケーションもとれたと思います。ですが、佐賀に来なければ分からない空気、創業者の足跡に触れ、大変貴重な時間でした。
- 百聞は一見に如かず、と言いますが全くその通りでした。市村清を身近に感じ、また確かに実在した跡を見て回ることが感慨深かったです。同じツアーをわが社の若手たちにも経験させたいと思いました。
- 創業者のルーツに触れることができ、大変貴重な時間となりました。周囲へ伝えることはもちろん、今後の業務へも活かしたいです。
- 佐賀の人たちにとって身近な英雄・偉人なんだと感じましたが、リコー三愛グループにとっても身近な偉人であり、たくさん学べることができる存在だと気づかされました。
- 創業者にしかできないこともあるかもしれませんが、地域と共に社会に貢献することの大事さを肌で感じられてよかったです。
- 千葉八幡宮の146段の石段が印象に残りました。

1日目（2月9日） 佐賀市内コース

サガテレビ（昼食）⇒ 維新博メモリアル展示＆清恵庵・燈籠 ⇒ 市村記念体育館 ⇒ 楊柳亭（外観見学）＆佐嘉神社（安全祈願）⇒ 市村清モニュメント ⇒ 佐屋醤油



佐屋醤油・吉村社長による説明

2日目（2月10日） みやき町コース

北茂安小学校 ⇒ 市村記念公園（生家跡）＆千葉土居公園＆市村清メディカルコミュニティセンター ⇒ 千葉八幡宮 ⇒ 佐賀市内（昼食）



北茂安小学校・長野校長が市村について紹介

創業者墓参



三愛会では、リコー三愛グループ創業者・市村清の墓参を年4回実施しています。

東京都港区元麻布の賢崇寺にて3月17日に春の墓参を、7月12日にお盆のお墓参りを行いました。

「愛の手募金」のご報告と御礼

2022年度の愛の手募金は、総額10,977,724円となりました。今年度もグループ社員の皆さまにはご協力をいただきありがとうございました。皆さまから寄せられたご厚志は、年末プレゼントとして1,110万円を遺児、重度の障がいを持つお子さん、障がいのため退職した社員のお子さんたち111名（10万円／人）にお贈りし、2023年春の入学・進学プレゼントを20名のお子さんにお贈りしました（167万円）。

ご協力くださった社員の皆さまお一人おひとりに感謝してご報告いたします。



支部活動報告

東京支部

2023年度総会を開催

4月19日、三愛会東京支部の2023年度総会がリコージャパン本社にて実施されました。当日は事務局を含む19名の方々が出席し、2022年度の事業報告や2023年度の事業計画案などが話し合われました。



近畿支部

関西地区創業者法要を実施

7月4日、京都・西本願寺大谷本廟にて創業者・市村清の法要を実施しました。当日は11名の方々が参加し、法要後の昼食会では新支部長となる明近畿支部長の挨拶など、終始和やかに執り行われました。



東北支部

2023年新春情報交換会開催

今回、東北支部の新年会は初の試みでリモートによる情報交換会を2月1日に開催しました。当日は15名の方々が参加して、皆さんから近況報告を伺うなど終始和やかに開催されました。

中部支部

総会をリモートで開催

1月27日、中部支部の総会はリモートにて9名の幹部が出席して開催されました。当日はお互いの近況や今後の見通しなどの情報交換が行われました。

九州支部

新年度会を開催

5月24日、今年は福岡市博多区の八仙閣本店にて新年度会を開催。初参加の方5名を含む17名の幹部の皆さんが参加して、親睦を深めました。



近畿支部

2023年度総会開催

1月25日、事務局を含む11名が参加し、リコージャパン堺筋事業所において総会を、ホテルグランヴィア大阪において懇親会を開催しました。



九州支部

「市村清と三愛精神」の勉強会

6月15日、リコージャパン・長崎支社の山口明人さんが講師となり、支社内の若手社員に向け「市村清と三愛精神」と題した講話を行いました。「三愛精神」は我々企業活動の原点ということに参加者全員が再認識しました。



「三愛会社友会」(リコー三愛グループOB会) 入会のご案内

「三愛会社友会」はリコー三愛グループ出身者のOB会です。現在、約600人の会員がサークル活動やイベントをいきいきと楽しんでいます。あなたもぜひ社友会に入会して、シニアライフを楽しく過ごしてみませんか？

- 入会資格：三愛会会員会社の定年退職者（20年以上勤続もしくは会員2人以上の推薦）
- 入会金：3,000円 ■年会費：3,000円（7月以降入会は、当年度会費1,500円）
- 入会方法：各社人事総務で担当者、または三愛会社友会（070-4418-0126）へお問い合わせください。

社友会の12サークル

- 散策
- ハイキング
- ゴルフ
- テニス
- スキー
- 健康麻雀
- 囲碁・将棋
- 俳句
- 尺八
- カメラ
- お蕎麦の会
- スケッチ画



テニスサークル（毎週水曜・金曜日に活動中）



散策サークル（石神井公園 2023.3）



カメラサークル（江ノ島の夕日撮影会 2023.2）

三愛会誌 Web アンケートの実施 より良い誌面作りにご協力ください

三愛会会員会社の皆さまに、本誌の満足度と今後について、Web アンケート調査を実施します。

■パソコンかスマートフォンで、下記QRコードまたはアドレスにアクセスして、アンケートにご回答ください。

<https://jp.surveymonkey.com/r/SAN-AI171>

アンケート実施期間

8月10日(木)～9月22日(金)

※抽選で記念品を差し上げます。



後日、三愛会がランダムに抽出した三愛会会員各社社員の方々にも本アンケートのお願いをメールで送らせていただく予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。

三愛会誌 編集委員

星	谷	のり	こ	(リコー)
岩	田	紀	子	(リコー) ※リコーエレメックス担当
さ	た	とし	ゆき	(三愛オブリ)
佐	田	敏	し	(リコーリース)
倉	藤	ひ	志	(リコークリエイティブサービス)
たけ	田	も	こ	
竹	だ	と	子	
	田	元	ひろ	
		ち		
		千		

編集後記

市村の卓越したアイデアを得て建設された「三愛ドリームセンター（三愛DC）」は、60年もの間、銀座のランドマークとしてあり続けてきましたが、今年建て替えが決まり、その役目を終えました。

東京マラソンのテレビ中継では、銀座4丁目の交差点を駆け抜けるランナーたちのバックに必ず三愛DCが映りました。それがとてもうれしく、また、その広告効果は市村のもくろみ通りだったと改めて思ったりもしました。

市村のシンボルともいえる三愛DCが姿を消したことはとても寂しいですが、2代目もきつと注目される存在になってくれると完成を楽しみにしています。（E子）

本誌に掲載されている個人情報やグループ誌としての目的以外に利用、または第三者に提供することを固く禁じます。

三愛会カレンダー（2023年8月～24年1月） ※2023年7月1日現在

三愛会全体

- 2023年 9月 三愛会理事会
三愛会常任理事会
- 12月～愛の手募金強化月間
- 12月 創業者祥月命日・墓参
- 2024年 1月 『三愛会会誌』第172号発行

支部

- 2023年 8月 東京支部 幹部ビアパーティー
神奈川・東静岡支部 総会・懇親会
- 12月 東京支部 ビアパーティー（ヤング三愛会）（予定）
- 2024年 1月 各支部新年会（予定）

読者アンケート結果から

『三愛会会誌170号』（特集：一度は乗ってみたい！おすすめローカル線）へのWebアンケートには約100名の方からご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。アンケートの中から一部をご紹介します。

●創業者・市村清について

- *昔の社員旅行は絵になるというか、とても豪華だったんだなと思いました。（リコー）
- *今、社員旅行を実施している会社はほとんど無いと思うので、当時の様子が分かって楽しい。（リコージャパン）
- *社員旅行、ちょっとだけうらやましい感じがしました。（リコー）

●特集：一度は乗ってみたい！おすすめローカル線を読んで

- *出かける時はほとんど車なので、時には車窓から流れる景色を駅弁食べながら楽しむ旅行もありだなと思い、興味を持ちました。（三愛オブリガス九州）
- *各地域のローカル線の情報が知れて良かったです。（リコージャパン）
- *もともと鉄道好きなので、いろんなローカル線が特集されていてうれしい。（リコージャパン）
- *写真を見ているだけでも今すぐ行きたくなって、うずうずしてしまいました。（リコー）

会社(団体)名	所在地 ※ビル名は省略	電話番号	事業内容
三愛会	東京都大田区中馬込1-3-6	050-3534-3401	会員会社・社員の福利厚生・親睦・文化活動等
リコーグループ			
㈱リコー	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-8111	画像機器の製造・販売およびソリューションサービスの提供
リコージャパン(株)	東京都港区芝3-8-2	050-3534-0800	OA機器等の販売およびオフィスのトータルソリューションの提供
迫リコー(株)	宮城県登米市迫町佐沼字北散田86	0220-22-4431	OA機器製造、精密金属部品の工法開発から製造
リコーインダストリー(株)	神奈川県厚木市下荻野1005	046-243-1210	事務機器、光学機器、印刷機器、機械装置などこれらの消耗品の製造ならびに販売など
リコーテクノロジーズ(株)	神奈川県海老名市泉2-7-1	046-292-9550	事務機器、光学機器、印刷機器、周辺機器、消耗品等の開発・設計および販売など
リコークリエイティブサービス(株)	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-2685	事業所運営事業、厚生支援事業、ビジネス支援事業など
リコーインダストリアルソリューションズ(株)	東京都大田区中馬込1-3-6	050-3817-3333	光学・精密機器、製造・検査装置、材料・部品、ソフトウェアシステム等の開発・設計、製造、販売、サービス
リコーITソリューションズ(株)	神奈川県横浜市都筑区新栄町16-1	050-3817-3900	システムインテグレーション事業、ITサービス事業、組込みソフトウェア事業
リコーテクノリサーチ(株)	神奈川県海老名市泉2-7-1	046-292-5372	特許調査、外国出願(米欧中韓の翻訳)、特許管理
リコーエスポアール(株)	神奈川県厚木市下荻野1005	046-243-1590	サービスパーツ包装、梱包業務・リサイクル
三愛オブリグループ			
三愛オブリ(株)	東京都千代田区大手町2-3-2	03-6880-3100	石油製品およびLPガス等の販売、航空燃料取扱業
キグナス石油(株)	東京都千代田区大手町2-3-2	03-5204-1600	石油製品および石油化学製品の販売、輸出入
三愛リテールサービス(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6810-3900	石油製品等の販売
佐賀ガス(株)	佐賀県佐賀市兵庫町大字西洲1996	0952-30-6161	都市ガス供給事業、ガス器具等の小売販売
三愛オブリテック(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6864-1850	エンジニアリング事業、クリーンテクノロジー事業
三愛オブリガス東日本(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6864-1833	LPガス・ガス器具等の小売販売
三愛オブリガス中国(株)	岡山県倉敷市中庄2230-7	086-461-0160	LPガス・ガス器具等の卸売・小売販売など
三愛オブリガス九州(株)	福岡県福岡市博多区冷泉町5-32	092-291-1731	LPガス・ガス器具等の卸売・小売販売など
三愛オブリガス三神(株)	佐賀県神埼市神埼町本堀3003-6	0952-53-1221	LPガス・ガス器具等の小売販売、建設業
三愛オブリカスタマーサービス(株)	高知県高知市本町4-2-52	088-888-7200	石油関連製品等の受発注業務
三愛オブリガスサービス中国(株)	岡山県倉敷市中庄2230-7	086-461-0164	LPガスの配送・充填
三愛オブリガスサービス九州(株)	福岡県福岡市博多区冷泉町5-32	092-291-1750	LPガスの配送・充填
㈱トスプロ	佐賀県鳥栖市儀徳町2927-1	0942-83-3059	LPガス・ガス器具等の小売販売
リコーエレメックスグループ			
リコーエレメックス(株)	愛知県岡崎市井田町3-69	0564-23-5111	精密加工部品、産業機器、OA機器関連等の製造・販売
リコーエレメックスエーティー(株)	岐阜県恵那市長島町中野1218-2	0573-25-8524	精密加工部品、LPガス関連機器等の製造・販売
リコーリースグループ			
リコーリース(株)	東京都千代田区紀尾井町4-1	03-6204-0700	リース・割賦事業、金融サービス事業
テクノレント(株)	東京都港区芝浦4-13-23	03-6858-9300	各種計測器・IT機器のレンタル、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、各種機器の販売など
その他の会社・団体			
㈱サガテレビ	佐賀県佐賀市城内1-6-10	0952-23-9111	放送法に基づく放送事業、メディア事業、その他の放送関連事業
㈱西銀座デパート	東京都中央区銀座4-1	03-3566-4008	不動産賃貸業及び商業施設運営管理
㈱エフエム佐賀	佐賀県佐賀市本庄町大字袋286-5	0952-25-7790	放送法に基づく超短波放送事業、その他の放送関連事業
瀬の本高原リゾート(株)	熊本県阿蘇郡南小国町満願寺5621-7	0967-44-0513	観光ホテル、ドライブイン等の運営
日清紡マイクロデバイス(株)	東京都中央区日本橋横山町3番10号	03-5642-8222	電子デバイス製品・マイクロ波製品の設計および製造・販売
SBSリコーロジスティクス(株)	東京都新宿区西新宿8-17-1	03-6772-8202	国内物流、国際物流に関するトータルソリューション事業
SBS三愛ロジスティクス(株)	東京都新宿区西新宿8-17-1	03-6772-8203	地域における物流トータルソリューション事業
佐屋醤油(株)	佐賀県佐賀市唐人1-1-16	0952-23-4624	醤油製造業・駐車場業・保険代理業
リコー三愛グループ健康保険組合	東京都品川区南品川6-11-6	03-3740-4881	加入会社社員・家族の医療給付と保険事業
公益財団法人 市村清新技術財団	東京都大田区北馬込1-26-10	03-3775-2021	助成(新技術開発・植物研究・地球環境研究)、市村賞贈呈、青少年創造性育成など
リコーグループ福祉会	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-4278	リコーグループ各社への共済事業

つたえる。ひろげる。つなげる。私たちの仕事。

サガテレビは、昭和44年（1969年）4月に開局した
佐賀県で唯一の民間テレビ放送局です。

開局以来、地元の報道機関としての役割はもとより、
佐賀県民が知りたい話題、地元の祭りやスポーツの
情報発信・番組制作にも積極的に取り組んでいます。



SAGATV

株式会社サガテレビ www.sagatv.co.jp 〒840-8558 佐賀県佐賀市城内1-6-10
代表取締役社長 指山 弘雄

「働き方改革」を 「レンタルPC」で 応援します！

- 多様化する勤務体系に
- 今後も広がるシェアオフィス勤務に
- 国内・海外出張のお供に
- 1週間からレンタル可能

働く場所が変われば、働き方も変わる。

☑ 遊休資産の抑制が可能

必要な時に必要なだけご利用できる為、無駄がありません。
(※解約清算金が別途発生します。)

☑ 資産管理が不要

レンタル費用は全て経費処理出来ます。

☑ 障害時の手間が不要

同等機種以上の代替機へ交換、引取修理、
利用場所での修理が可能です。

☑ 保管場所が不要

社内に保管用のスペースを
持ち続ける必要がありません。

☑ 廃棄費用が不要

不要になればご返却下さい。
(※返却費用は別途発生します。)

Imagination
「ねえ、スカイブルーってどんな色か知ってる？」

いつのことだったか、友達とドライブしていた時に不意に聞かれた。「ねえ、スカイブルーってどんな色か知ってる？」幼稚園に通う疑問だらけの男の子の問いかけのような質問に、何のひねりもなく私は答える。「え、青空の色でしょ。」
「それはそうだけど、ある場所の空なのよ。」青空なんて、世界どこでも繋がっているんだし、そんなに変わらないものではないか？なおさら気分によっても空の見え方は違うものだし、なんて答えてよいものか。年齢を聞いた時に「何歳に見えますか？」と逆質問された時と似ためんどくささを感じていると、友人は自慢げに答えた。「スカイブルーはニューヨークの青空の色なんだって。」中途半端なヒントを与えられるよりあっさり答えてもらった方が私は好きだ。
「へー、そうなんだ。よく知ってるね。なんでそんなこと知ってるの？」「いや、なんかラジオで言っていたんだ。」なぜニューヨークの青空がスカイブルーなのかまでは覚えていないようだが、数センチぐらい人よりリードした顔つきで、チューニングを77.9 MHzに合わせていた。

音だけの世界にも映像がある
FM SAGA 77.9 MHz



RICOH
imagine. change.

“はたらく”に、
喜びを。



私たちのサービスが実現するのは、好きな時に、好きな場所で、自由にはたらける世界。
はたらく人、場所、ワークフローが自在につながり、人間らしい想像力が発揮される未来。
そして、“はたらく”の変革に実現する、持続可能な社会。
リコーは、あるべき未来を想い描き、今をかえていきます。

はたらく喜びを、生きる喜びへ、つないでいくために。

<https://jp.ricoh.com>

株式会社リコー 〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6